

アサリ漁業勉強会を開催

近年、全国的に資源が減少しているアサリの効果的な増養殖技術や資源管理手法などについて学ぶため、海洋センター主催で（国研）瀬戸内海区水産研究所から講師を招聘し、6月21日にアサリ漁業勉強会を開催しました。漁業者19名や海の民学舎生をはじめ、漁業協同組合職員、自治体職員など51名が受講しました。

当センターからは、宮津市阿蘇海におけるアサリの害敵からの効果的な保護法について報告し、アサリの発生時期などについて活発な質疑応答がありました。

今後も、漁業関係者の技術や知識の積極的な取得をめざし、このような機会を増やしてアサリ漁業の振興を進めます。



水産研究所報告スライド
阿蘇海産のアサリ稚貝が府内外に販売されることで、全国的な資源減少の解消に繋がることに期待が寄せられている



アサリに関する報告を聞いて積極的に質問をする漁業関係者